

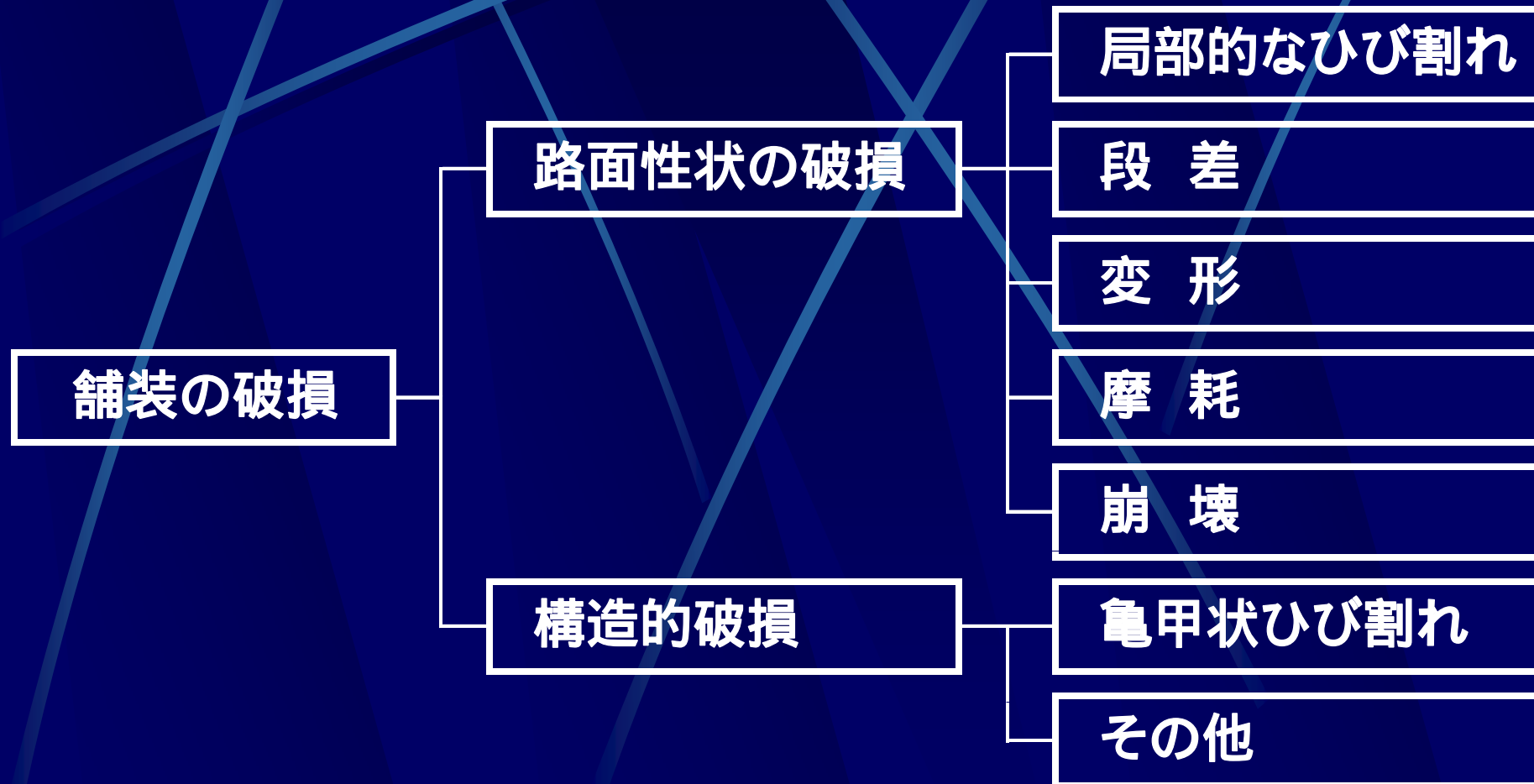


緊急道路補修材

ダッシュペーパー E (DPE)

株式会社 ガイアート T・K  
野中 政直

# 舗装の破損の分類



# 道路補修の施工方法及び材料



- **パッチング工法 ・ 薄層オーバーレイ**

加熱アスファルト混合物、常温アスファルト混合物  
反応型樹脂系材料(エポキシ、MMA)

- **充填工法 ・ シール材注入**

加熱施工型、常温施工型、成形型

- **表面処理工法**

アスファルト系、樹脂系

- **局部打換え工法**

加熱アスファルト混合物

# 道路補修材の種類

アスファルト混合物(加熱・常温)

セメント系

アスファルト乳剤系

注入材(瀝青材、樹脂系)

樹脂系

(ダッシュペープ E)

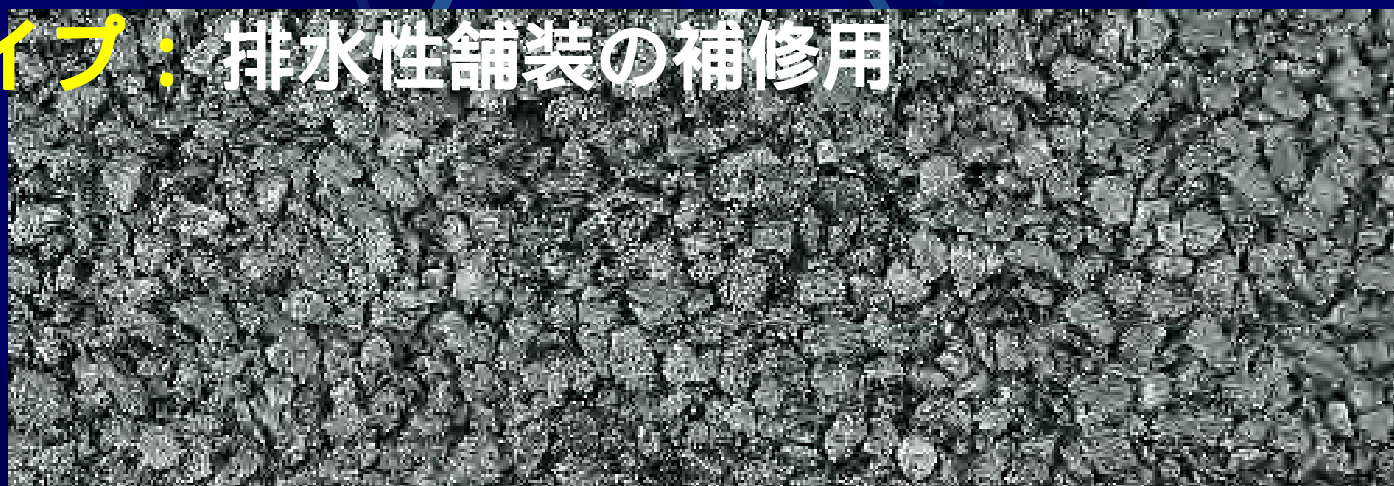
# ダッシュペーパー E の種類

**標準タイプ**：粗粒タイプの骨材配合で、ポットホール等の穴埋めに使用

補修面は粗面に仕上がりに、スリップしにくくなります

**細粒タイプ**：ゼロすり付けの出来る段差修正用

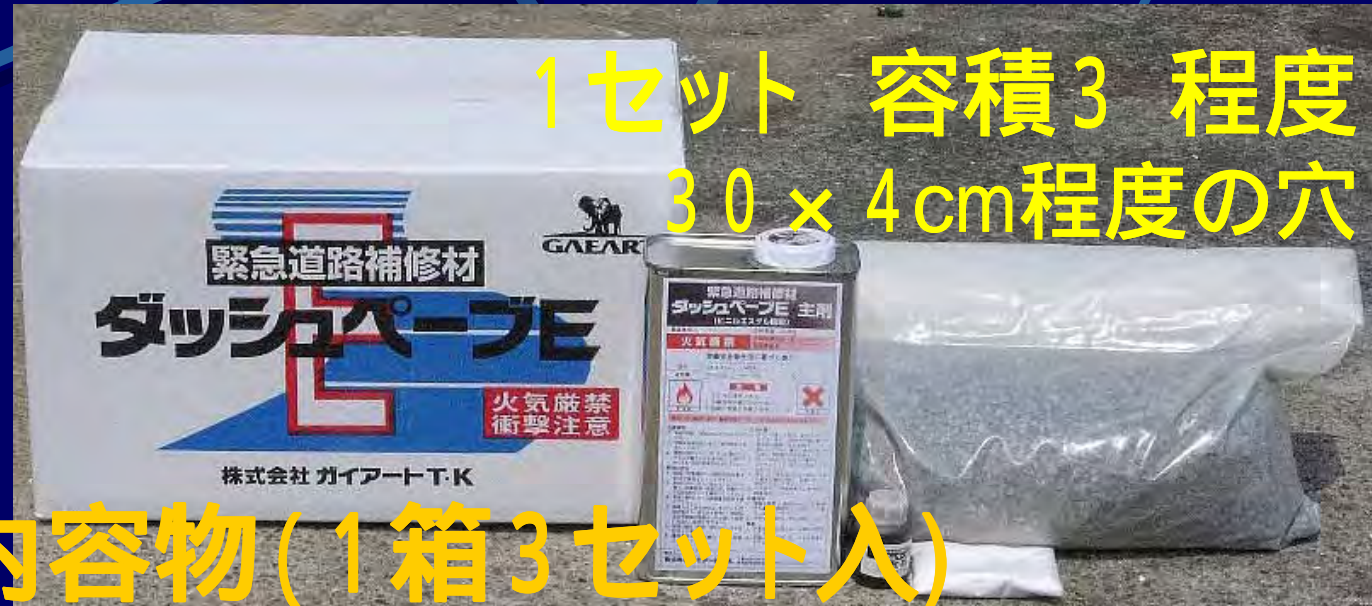
**ポーラスタイプ**：排水性舗装の補修用



**ポーラスタイプの仕上がり面**

10 20 30 40 50 60 70 80 90 100 110 120 130 140 150 160  
No.1016-04B

# ダッシュペーパー E の製品荷姿



## セットの内容物(1箱3セット入)

- 骨材(ポリ袋入り)
- 主剤(缶入り)
- 添加剤(ポリ容器入り)
- 硬化剤(袋入り)





# ダッシュペーパー E の特徴

誰にでも取り扱えるように材料をキット化した常温タイプの補修材で、現場で素早く混合し作業が行えます。また、施工に特別な機械や道具は不要です。

硬化が早く、ただちに交通開放が可能です。

(春、秋で約10分程度)

プライマーを必要とせず、アスファルト舗装やコンクリート舗装の区別なく使用できます。

また、路面が湿潤状態であっても施工が可能です。

長期間の貯蔵が可能で緊急の補修に即応できます。

# ダッシュペーパー E の用途

舗装のポットホールの補修

橋梁ジョイント前後の段差修正

人孔等構造物周辺の段差修正

コンクリート舗装の補修

歩道や階段の補修

その他凹凸箇所の補修



# 作業手順



## 下地処理

(必要に応じて)

補修箇所にも多量に水が滞水している場合や、湿った粘土分が残留している場合は下地が見える程度まで排除する。

## DPEの混合

主剤及び添加剤、硬化剤を主剤缶内で混合して樹脂バインダー作成し、ポリ袋入りの骨材に流し込み混合します。

## 敷き均し・仕上げ

ポリ袋から混合物を直接施工箇所に流し込み、金ゴテ等で軽く押さえる様に敷き均し仕上げます。混合開始から10分程度で硬化し交通開放できます。

# 作業状況



混合



敷き均し



袋ごと揉むように混合



袋から直接流し込む



# 作業状況



仕上げ



交通開放



木ゴテ等で軽く均す



硬化次第交通開放

補修例

# ポットホール

の補修



補修箇所

補修例

橋梁ジョイント段差修正





# 補修例



## 料金所・軸重計コンクリート部の補修



補修後(2ヶ月後)



補修時の状況

気温2℃、降雪有り



補修例

コンクリート舗装の補修

目地の角欠け部の補修



# 補修例

## 駅のプラットフォームの補修





補修例

排水性舗装の補修

ポーラスタイプ



# DPEの性状 評価項目及び試験方法

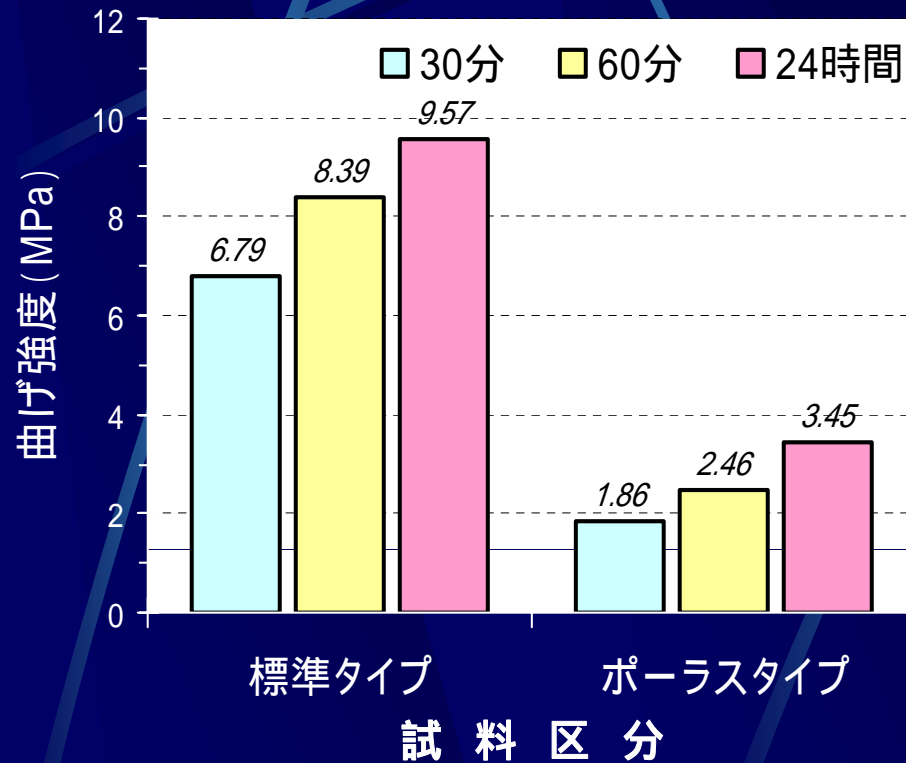
評価項目	試験方法	試験条件	配合及び評価
硬化性	モルタル曲げ試験 (JIS R 5201準拠)	常温 30分、60分 24時間	時間経過による曲げ強度発現度 (標準・細粒・ポーラス)
安定性	圧裂強度試験 (舗装試験法便覧)	マーシャル供試体 0、20、60	各温度における強度、変形量 0 /60 の強度比による耐流動性 (標準・細粒・ポーラス)
接着性	引張接着試験 (Co床版防水法)	常温乾燥面、 湿潤面気中養生、 水浸養生	接着性、耐久性 (標準・細粒・ポーラス)
耐久性	低温カンタブロ試験	- 20	剥奪飛散抵抗性 (ポーラス)

# DPEの性状

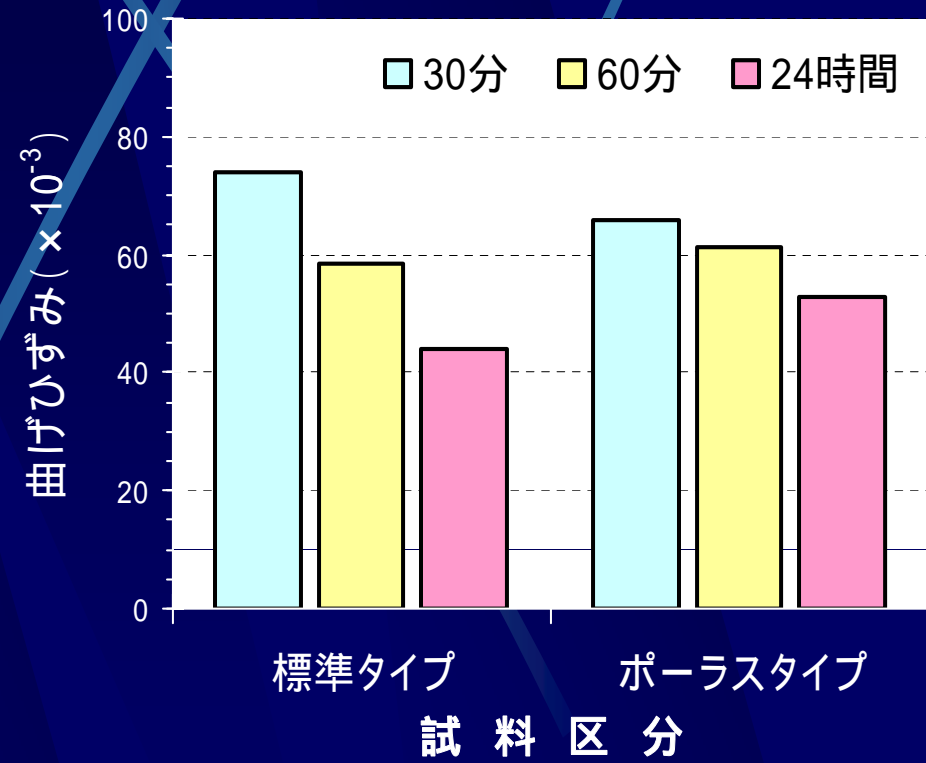
# 試験結果(1)



## 曲げ試験結果(強度の発現性)



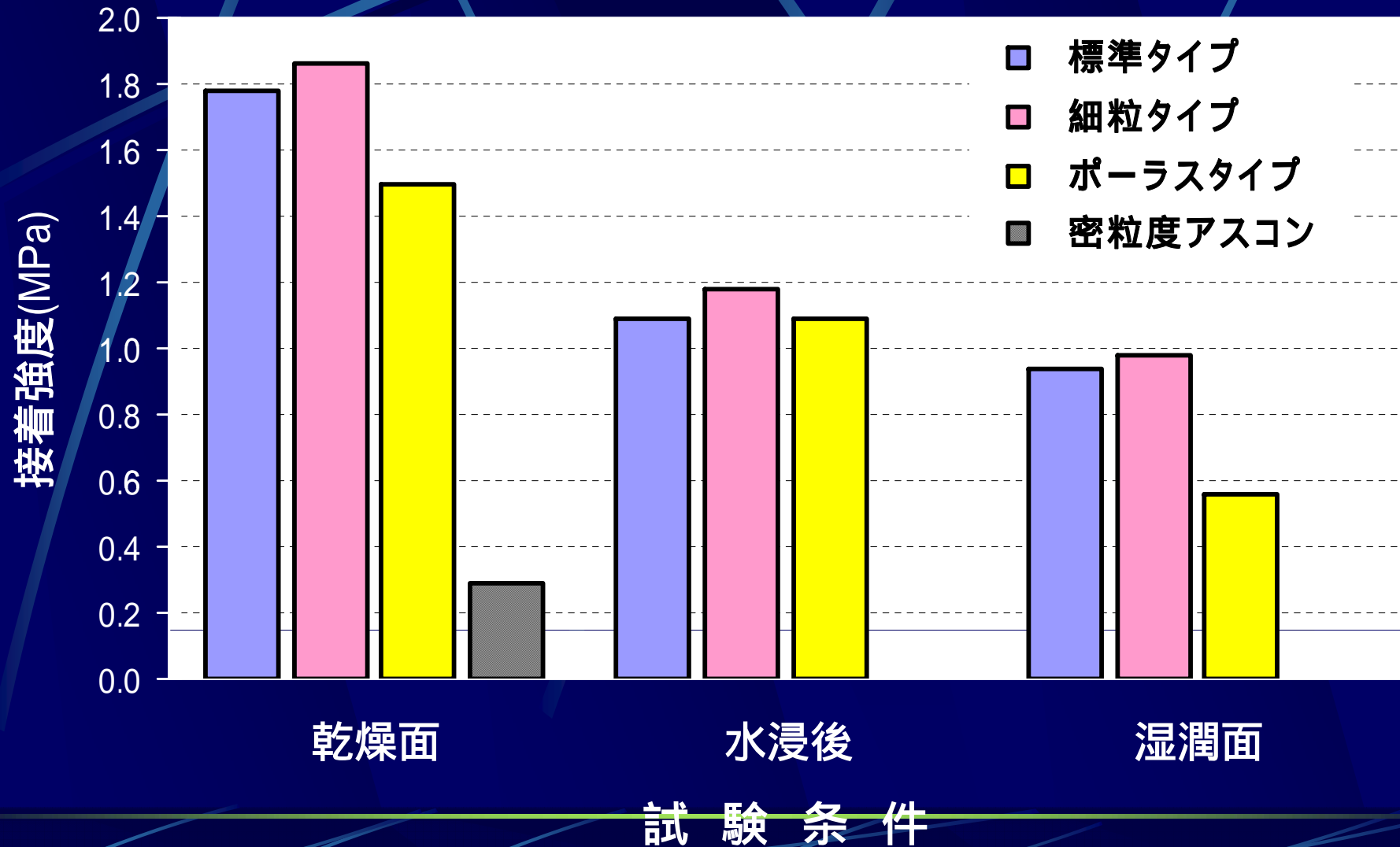
曲げ強度 (20)



曲げひずみ

# DPEの性状 接着強度試験結果

## 試験結果(2)

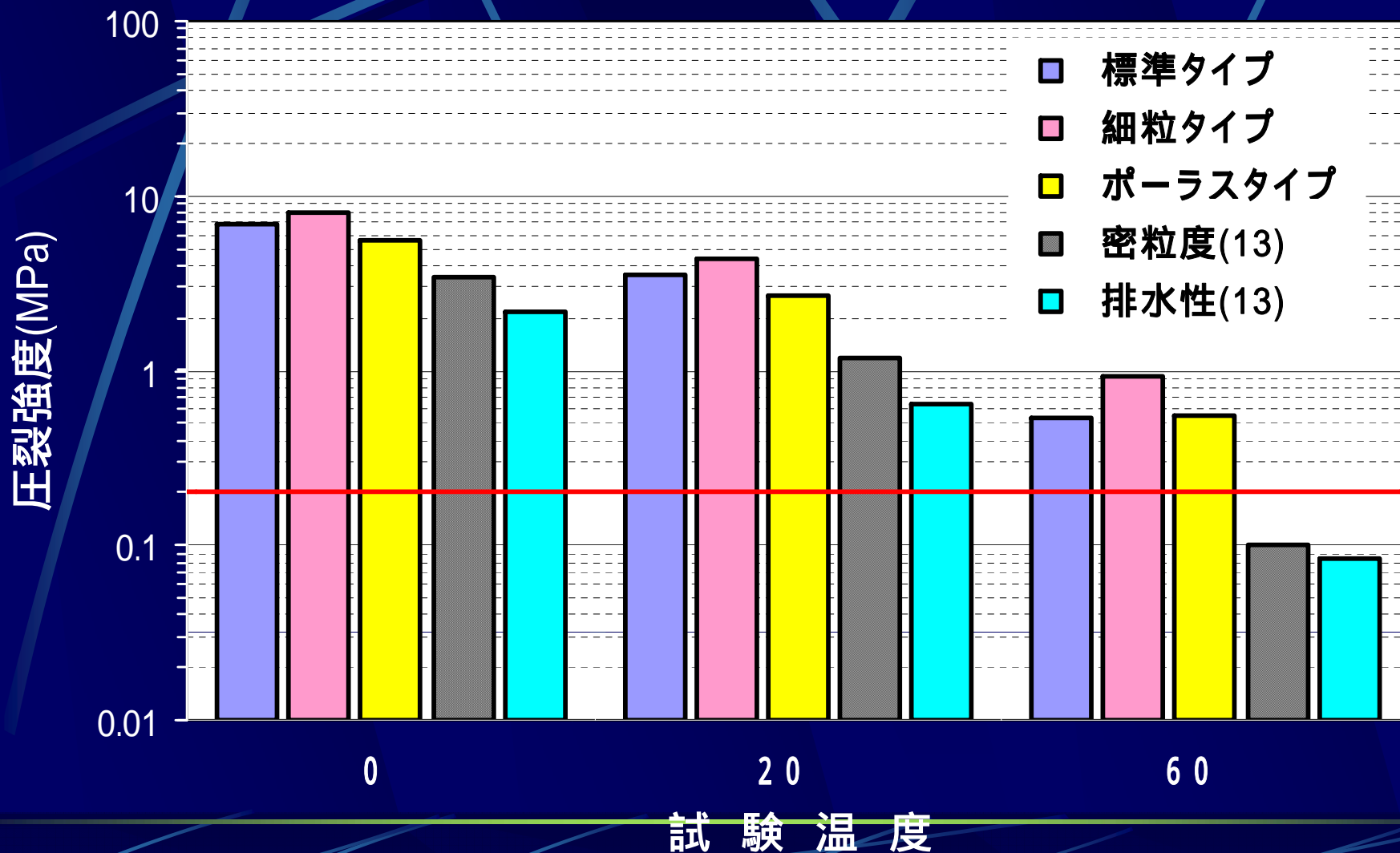




# DPEの性状

## 圧裂強度

# 試験結果(3)

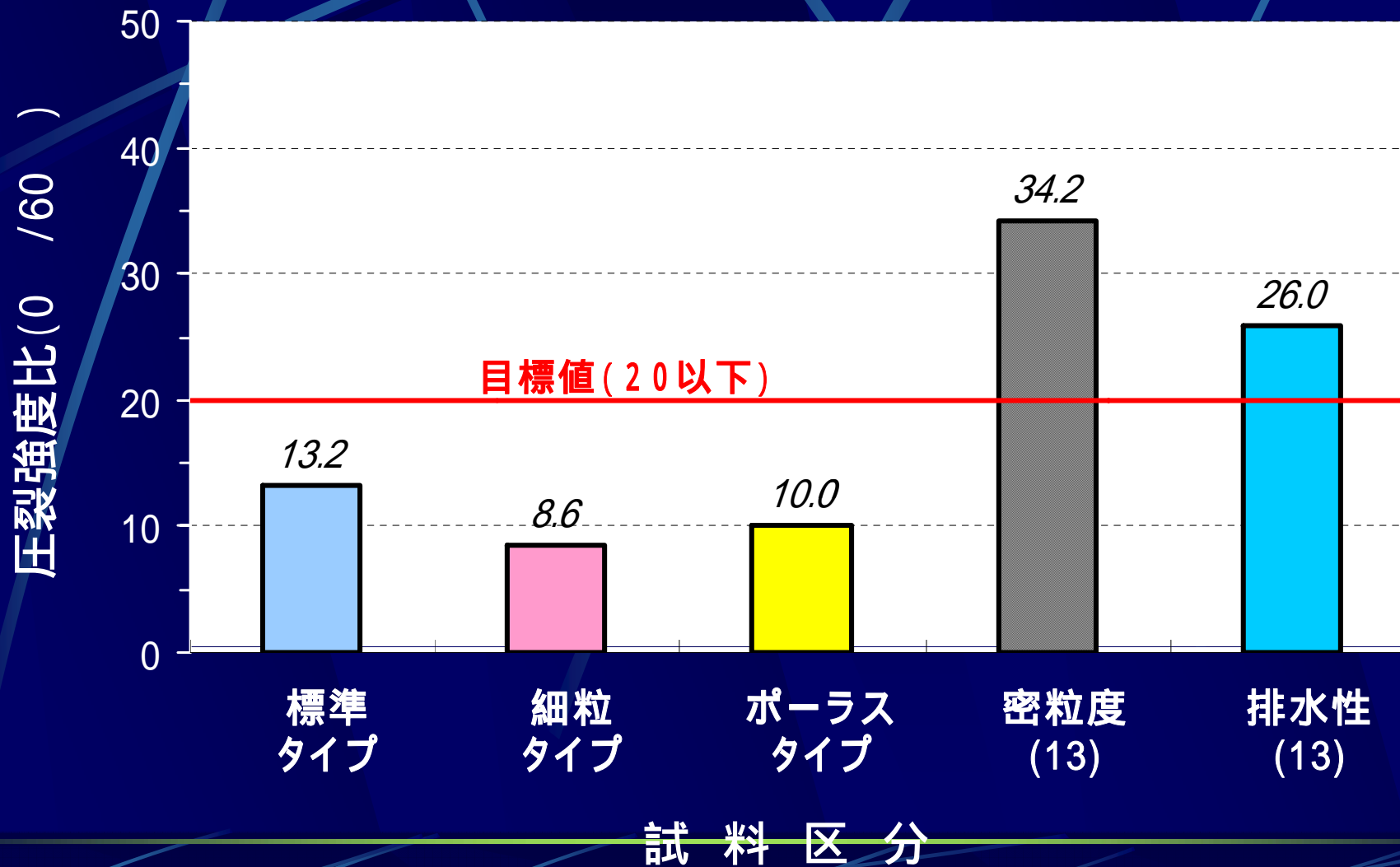


# DPEの性状

# 試験結果(4)

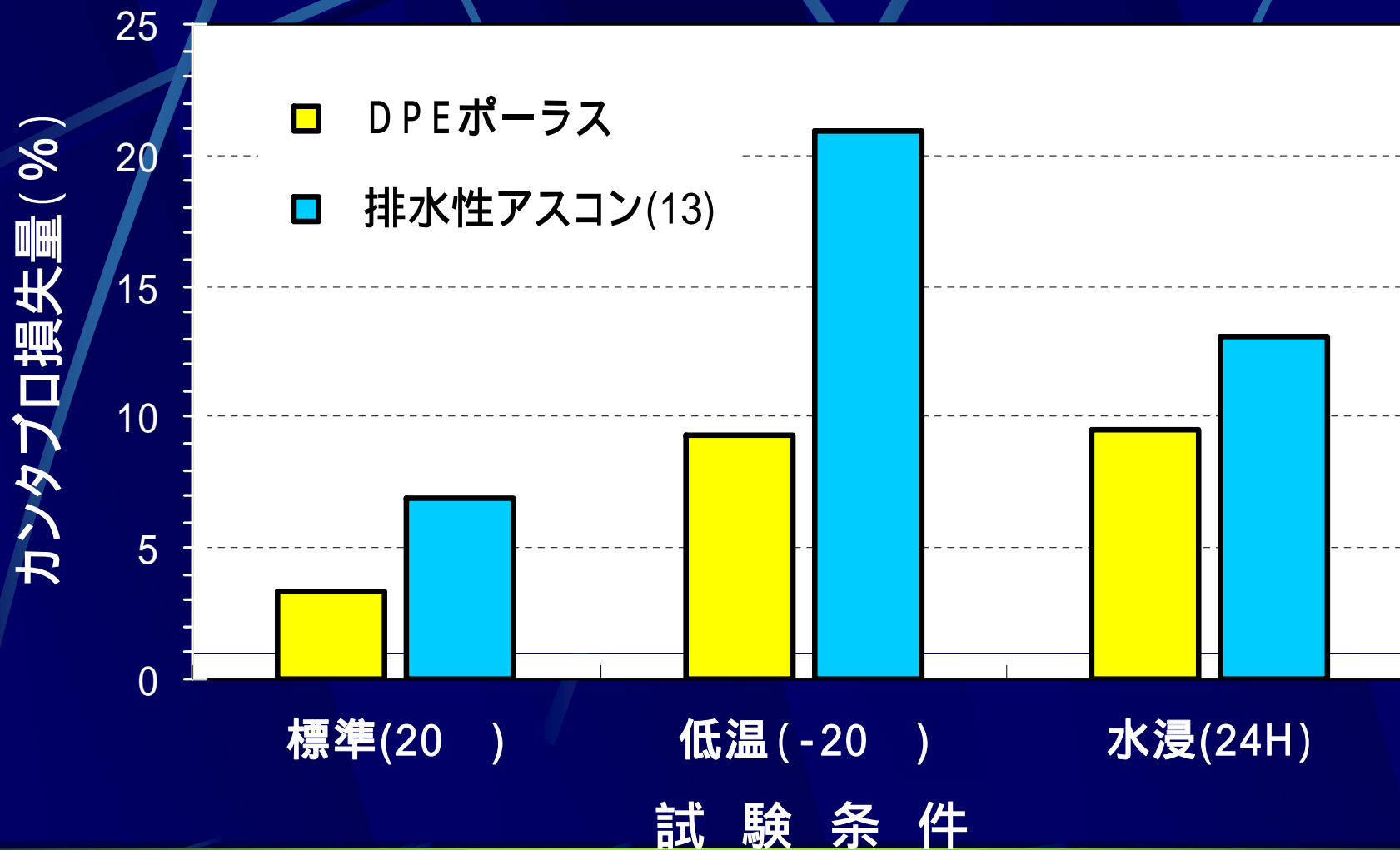


## 圧裂強度比(0 / 60 )



# DPEの性状 試験結果(5)

## ポーラスタイプのカンタプロ試験



# DPEの性状 試験結果(6)

## 道路補修材 タイプ別性状比較表



試料区分	材質・仕様	曲げ試験 30分養生強度 (MPa)	圧裂強度 (60 ) (MPa)	圧裂強度比 (0 /60 )	接着強度 (乾燥面) (MPa)	総合 評価
DPE	樹脂タイプ	6.8	0.93	8.6	1.86	
評価	(細粒タイプ)					
製品 A	常温合材	試験不能	試験不能	試験不能	0.02	
評価	(袋詰めタイプ)	×	×	×	×	
製品 B	アスコタイプ	試験不能	0.01	50.3	0.12	
評価	(反応タイプ)	×	×	×		
製品 C	樹脂タイプ	1.0	0.72	11.6	1.75	
評価	(モルタル仕様)					
目標値 (DPE)		5 以上(1日)	0.2 以上	20 以下	1.0 以上	



# 作業にあたっての注意点

閉所作業や火気には十分注意する

材料の保管や取り扱い時は直射日光や火気、熱源及び衝撃等を出来るだけ避け、乾燥した場所に保管する

樹脂類を直接皮膚や目に接触しないようにする

詳細は取り扱い説明書及びMSDSを参照してください。

# 使用が不適当な箇所

アスコン層が薄く、碎石路盤が露出している箇所

ポットホール内に水分が過剰な場合

ポットホール内、若しくは補修箇所に湿った粘土  
等が堆積しているような場合

舗装が構造的に破壊している箇所

流動わだちが極端に大きい箇所等





緊急道路補修材

ダッシュペープ  $E$  (DPE)

終わり

ご静聴ありがとうございました。

株式会社 ガイアートT・K